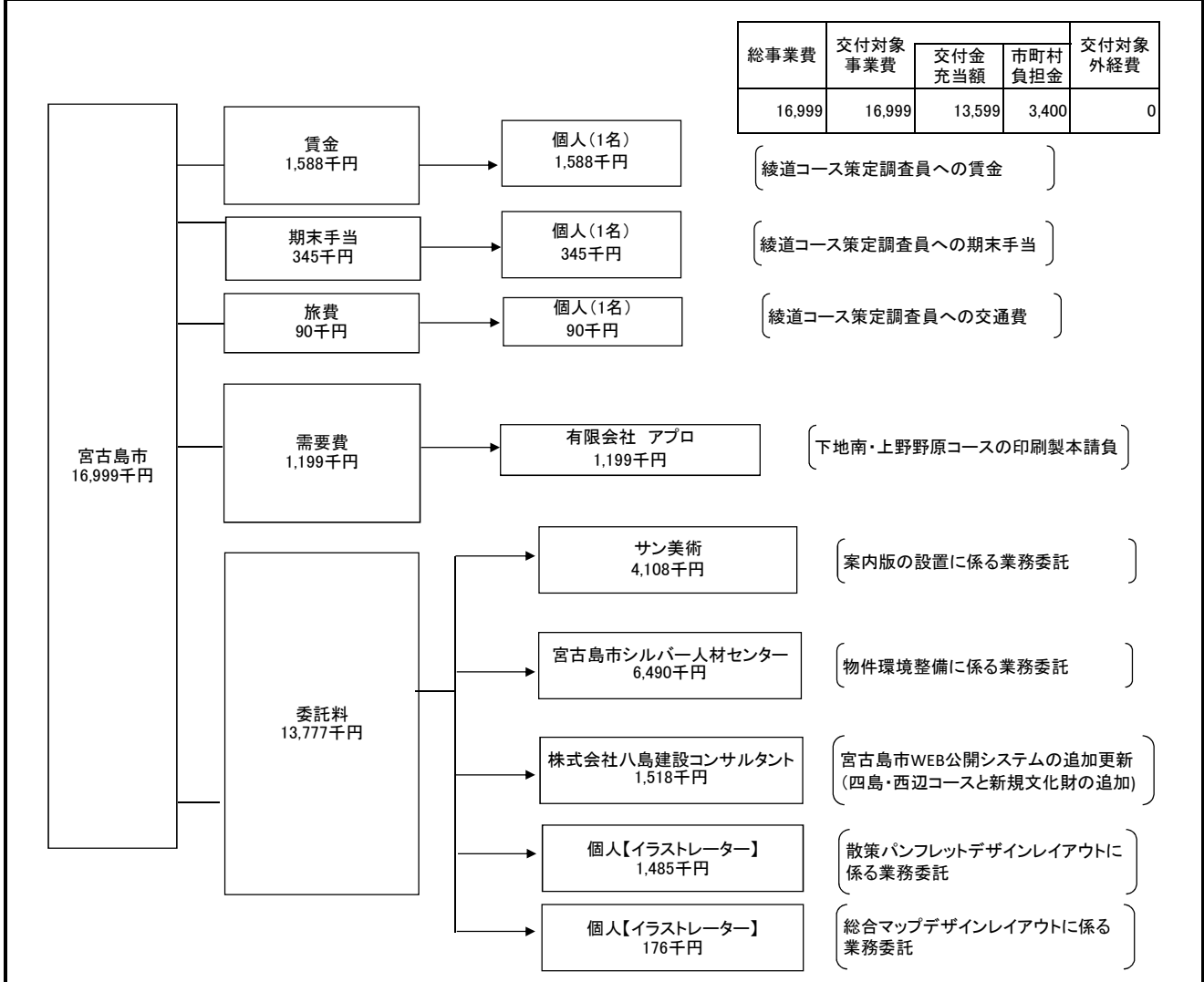


市町村名		宮古島市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	宮古島市neo歴史文化ロード整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-(ア)	
	担当部署	生涯学習部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-1-(1)	
事業内容	宮古島市neo歴史文化ロード「綾道(あやんつ)」として、「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心とした伝説と民話に彩られたロマン溢れる「宮古島市特異の歴史と文化」を巡る新たな散策コース等の整備を行い、新たな観光資源の一つとして広く活用する。令和3年度は新コースである下地南・上野野原コースの策定とパンフレットの印刷製本を行い、関連して文化財案内板及び標柱の設置と、綾道全体の総合マップの作成を行った。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	34,699	26,023	10,270	17,242	17,014
		(b) 予算現額	34,699	22,210	22,210	18,243	17,014
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 3,813	▲ 3,813	1,001	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		34,699	22,210	22,210	18,243	17,014
	B. 執行済額		32,971	22,068	22,068	17,742	16,999
	うち交付金充当額		26,376	17,654	17,654	14,193	13,599
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		95.0%	99.4%	99.4%	97.3%	99.9%
予算の状況の説明		全体を通して15千円の不要が発生しているが、事業執行は全て完了している。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	・綾道(上野野原・下地東コース)の策定	目標	(策定完了)	()	()	()	
		実績	策定完了				
	・綾道(上野野原・下地東コース)のパンフレット作成・印刷(1,200部)	目標	(12,000部)	()	()	()	
		実績	12,000部				
	・綾道総合マップの作成・案内板設置	目標	(設置完了)	()	()	()	
		実績	3基設置完了				
	・WEB公開システムへのコース追加	目標	(コース追加完了)	()	()	()	
		実績	コース追加完了				
・文化財説明板および標柱の設置	目標	(説明板および標柱設置)	()	()	()		
	実績	看板1基 標柱2基 機能追加12基					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新規コース(下地南・上野野原コース)の策定。散策パンフレットを、12,000部作成した。 ・綾道総合マップの看板作成については、設置式の1基から移動式の3基に変更を行い、移動式の3基を作成した。 ・標柱・説明看板の設置及び既存の説明版の機能追加については、新規で説明看板1基と標柱2基を設置し、既存の説明版に「綾道コース」に合わせ機能追加したプレートの12基の設置を行った。 ・宮古島市文化財WEB公開システム追加更新については、下地南・上野野原コースと刊行物1ダウンロード頁の追加更新を行った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・満足度が向上したか(80%以上)を含め、散策コースを活用した観光客へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		93.60%	-	96.50%	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年10月25日～11月30日まで空港待合室で実施していた観光客アンケートで、96.5%の観光客が満足していると回答しているため、成果目標を達成している。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本事業のスケジュール上、新規コースの策定を12月末までに終了しないと、その後の事業執行が遅滞してしまう。今年度は長期間に及び緊急事態宣言及び蔓延防止等重点措置が出され、資料収集のためのフィールドワーク等が困難であったこともあり、新規コースの策定が遅れ、事業執行に余裕がなくなってしまう。</p>	<p>本事業は、単年度で新規1コースを策定、パンフレットの作成及びコース整備の実施を行うスケジュール設定をしているが、事業の執行に時間的な余裕がなくなり、事業の練り込みが不十分に感じている。</p>
今後の取り組み方針		
<p>本事業では、宮古島にある文化財等を地区ごとで分別し10コースを基本コースとして、親しみやすく、分かりやすいコース作りの策定をして来たが、今後は自然や伝承(ストーリー)など種別に応じたコースの策定を行い、より宮古島らしい文化財等のコース作りを行いたい。 また、今後は1年目でコースの策定、2年目でパンフレット作成及びコース整備とするなど、余裕を持った事業執行を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



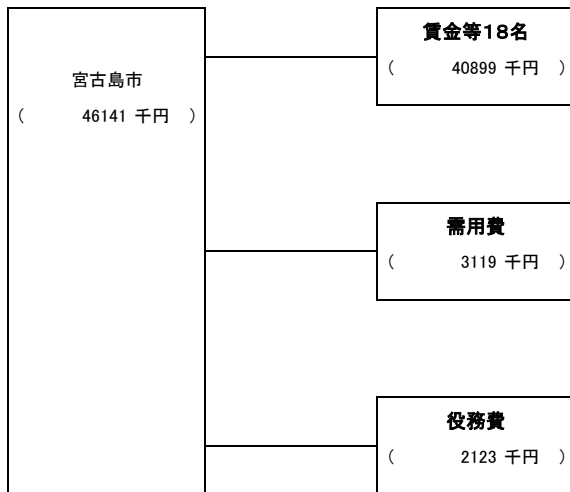
資金の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○環境整備除草清掃作業業務は宮古島市シルバー人材センターに委託しており、また地方自治法施行令167条の2第2項に該当していることから適正であったと考えている。 ○予算規模について、事前に見積書を徴取するなどしており適正であると考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市							
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	観光地アクセス道路環境美化強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-(②)-エ			
担当部署名	建設部 道路建設課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備			
事業内容	美しい島づくりを推進するため、環境アクセス道路の環境美化強化(除草・清掃)を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	36,983	37,271	37,271	42,559	50,768	
		(b) 予算現額	36,983	37,271	37,271	43,048	51,598	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	489	830	
		(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)		36,983	37,271	37,271	43,048	51,598	
	B. 執行済額		34,599	34,881	34,475	41,481	46,142	
	うち交付金充当額		27,679	27,905	27,580	32,016	36,913	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		93.6%	93.6%	92.5%	96.4%	89.4%	
予算の状況の説明		当初予算額50,768千円から途中予算増額(51,598千円)を行ったが、作業員の中途退職があり不用額5,456千円となった。今後予算増額を検討する際には執行状況予測をより正確にする必要がある。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	観光地アクセス道路の環境美化の実施 32路線		目標	(作業実施)	(作業実施)	(作業実施)	(作業実施)	
			実績	作業実施	作業実施	作業実施	作業実施	
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	宮古島市の主要観光地へのアクセス道路環境美化を図るため、市道32路線を選定し、18名を雇用し道路清掃作業を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	観光地周辺について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であるか(80%)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績		83.5%	-	95.9%	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	
			実績					
	進捗状況説明	・宮古空港・下地島空港での観光客アンケート実施し、目標数値を達成することができた。今後とも継続して取り組み観光満足度向上に寄与する必要がある。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>亜熱帯性気候で植物が繁茂しやすく、台風襲来後や豪雨時の路面への石粉の流出・堆積が多いことなど、観光地としての景観維持や安全安心な観光地として道路の安全性を確保する必要がある。</p>	<p>優先的に環境美化を実施する路線を見直し、作業環境の改善及び人員を確保し、必要に応じた配置等を行う。 また、路面清掃の清掃回数等を改善する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>関係機関との連携を拡充させ、対象路線及び環境美化作業の頻度を見直すとともに、路面清掃の時期を考慮しながら観光地アクセス道路の更なる環境美化を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
46,141	46,141	36,912	9,229	0

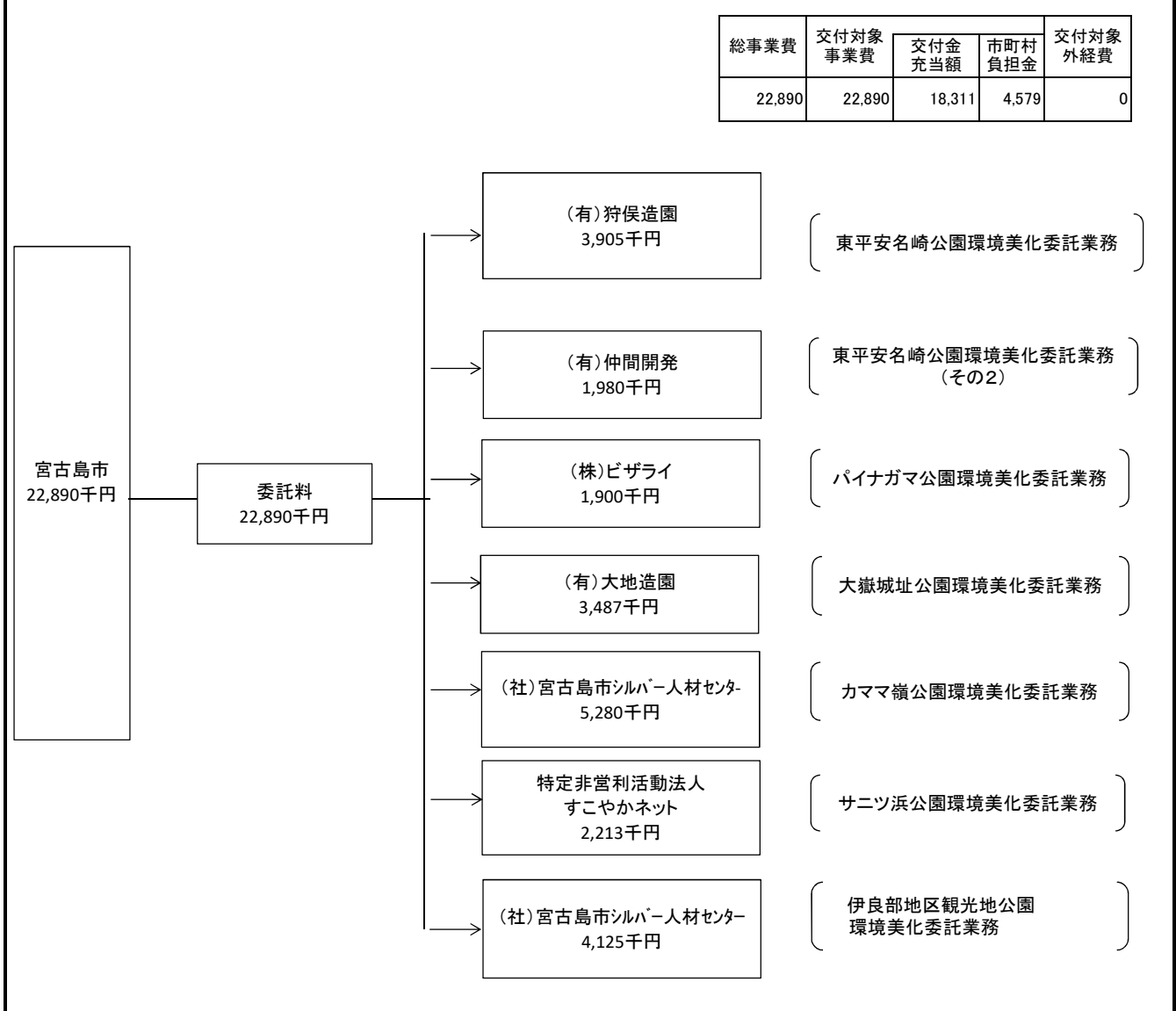


資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・賃金職員は、本市条例・規則に基づき審査、決定しており妥当である。 ・台風等の災害で出勤できない不測の日が生じたが、予算規模は適切だった。 ・費目、使途については支出等に関する書類により確認し、妥当である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	観光地公園環境美化強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	建設部 道路建設課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	美しい島づくりを推進するため、宮古島観光地公園5箇所(東平安名崎公園、パイナガマ公園、カママ嶺公園、大嶽城趾公園、サニツ浜公園)及び伊良部島観光地公園7箇所(サバオキ公園、フナウサギバナ、白鳥公園、通り池、佐和田の浜、渡口の浜、牧山公園)の観光地として利用されている公園の環境美化清掃を行う。						
効果発現年度	■当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a)当初予算額	21,723	22,382	22,797	22,913	24,552
		(b)予算現額	18,813	19,718	19,341	22,307	22,890
		(c)増減額(b-a)	▲ 2,910	▲ 2,664	▲ 3,456	▲ 606	▲ 1,662
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	18,813	19,718	19,341	22,307	22,890
		B. 執行済額	18,743	18,599	17,536	22,307	22,890
		うち交付金充当額	14,994	14,879	14,029	17,845	18,311
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	99.6%	94.3%	90.7%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	・当初計画通りすべて実施することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	観光地公園12ヶ所の環境美化作業実施		目標 (12箇所)	(作業実施)	(作業実施)	(作業実施)	
			実績 12箇所	作業実施	作業実施	作業実施	
	【参考指標】 定期的美化作業 宮古島:年12回(月1回程度)		目標 (宮古島:年12回 (伊良部島:年4~5回))	(宮古島:年12回 (伊良部島:年4~5回))	(宮古島:年12回 (伊良部島:年4~5回))	(宮古島:年12回 (伊良部島:年4~5回))	
達成状況説明		宮古島観光地公園5箇所(東平安名崎公園・パイナガマ公園・カママ嶺公園・大嶽城趾公園・サニツ浜公園)においては、それぞれ月1回以上の除草作業等を実施した。 伊良部島観光地公園は7箇所(サバオキ公園4回、フナウサギバナ5回、白鳥公園5回、通り池5回、佐和田の浜5回、渡口の浜4回、牧山公園5回)の除草作業等を実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	観光地公園について、観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め、観光客を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	93.6%	-	95.9%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
	進捗状況説明		環境美化について観光客にアンケートを実施した結果、目標値である80%を上回り、約96%が満足だと回答した。観光地公園の環境美化作業を実施することで観光地として、魅力的な景観形成が図られている。				

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	1)国指定名勝でもある東平安崎公園の環境美化において、例年園路沿いを作業対象としているが、当初の作業対象外となっている史跡名勝天然記念物第2種保護地区のススキが繁茂し景観を損ねていた。	1)史跡名勝天然記念物の現状変更等申請を行った上で清掃箇所を追加し、ススキの除草作業を実施した。その結果、元々自生していたテッポウユリが開花し、地元の新聞にも掲載された。R4年度も同公園内の清掃箇所追加を検討し継続して実施する。
	2)定期的に除草を行っているが、5～10月の間は雑草の成長が早く作業が追いつかない。	2)面積が大きい作業観光地公園の除草作業については、除草範囲を分けて委託を検討する必要がある。
	3)入域観光客数の増加に伴い、今後も観光地公園の来園者数の増加が見込まれるが、その分観光客による放置ゴミ等による美化環境への影響が懸念される。	3)観光客の増加が観光地公園の美化環境にどのような変化を及ぼすかを把握し、変化に対応した公園環境美化作業内容について検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>1)観光地として人気のある公園については効果的な美化方法を検討し、柔軟に対応することにより事業効果を上げていく。</p> <p>2)必要に応じて今後、除草作業の範囲の拡大や清掃活動の回数を増やすなど、公園美化環境の最適化に向けて取り組んでいく。</p> <p>3)観光客の増加による公園の美化環境の変化を把握し、観光地公園としての景観形成を在り方を検討する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



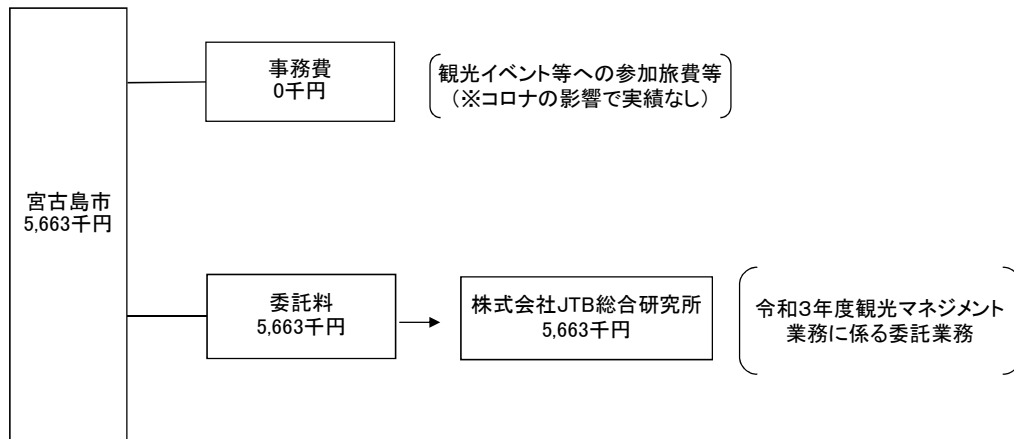
資金の 用途の 流れ 点検 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・資金職員は、本市条例・規則に基づき審査、決定しており妥当である。 ・台風等の災害で出勤できない不測の日が生じたが、予算規模は適切だった。 ・費目、使途については支出等に関する書類により確認し、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	誘客促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(イ)	
担当部署名	観光工商スポーツ部観光工商課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本市への観光誘客を図るため、国内外の観光イベントでのプロモーション活動の実施、国内外の新規航空路線就航に向けたPR活動、官民が連携した「宮古島市観光推進協議会」の開催により各種取組の推進を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	28,000	21,000	9,000	6,780	6,729
	(b)予算現額	21,000	19,800	7,500	6,705	6,713	
	(c)増減額(b-a)	▲7,000	▲1,200	▲1,500	▲75	▲16	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	21,000	19,800	7,500	6,705	6,713	
	B.執行済額	19,511	19,182	7,259	5,699	5,663	
	うち交付金充当額	15,608	15,345	5,807	4,559	4,530	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	92.9%	96.9%	96.8%	85.0%	84.4%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の影響が長引いたことにより、国内外イベントのプロモーション活動ができなかったため、不用額が1,050千円発生した。予算現額が16千円減となったのは、委託業務の設計によるもの。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	①観光PRイベント等への参加	目標	(イベント参加)	(イベント参加)	(イベント参加)	(イベント参加)	
		実績	イベント参加	イベント参加	イベント参加なし	イベント参加なし	
②観光マネジメント業務の実施	目標	()	(業務実施)	(業務実施)	(業務実施)		
	実績		業務実施	業務実施	業務実施		
達成状況説明	【観光PRイベント等への参加】 新型コロナウイルス感染症の影響が長引いたことにより、観光PRイベントへの参加ができなかった。 【観光マネジメント業務】 第2次宮古島市観光振興基本計画で定めた観光振興に関する施策を官民一体となって推進し、宮古島市の活性化を図る事を目的とする宮古島市観光推進協議会(3回)及び観光実務担当者会議(4部会・各2回)を開催した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・入域観光客数642,000人以上	目標	()	(1,000,000)	(1,150,000)	(642,000)	()
		実績			1,061,323	359,592	434,969
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	宮古島市への入域観光客は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、クルーズ船の全キャンセル、航空路線の減便、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置中の県外、島外からの来島自粛をお願いしたことから、昨年度よりは若干回復したものの、434,969人となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で入域観光客数が落ち込んだ。 観光マネジメント業務において、各種観光問題について官民で議論し、課題の共有を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 入域観光客数を回復するために、感染症対策の周知徹底と国内PRイベント等へ参加し宮古島をPRしていく必要がある。 観光マネジメント業務で共有した課題の解決策を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 国内PRイベント等への参加時には新型コロナウイルス感染拡大防止へ留意するとともに、PR方法やタイミングに配慮し実施する。 観光マネジメント業務で共有した課題の解決に向けて、関係各部署と連携し事業を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ○伊良部牧山公園活用について ○宿泊税の導入について ○受入キャパシティの評価について ○候補DMOとの連携強化について 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
5,663	5,663	4,530	1,133	0



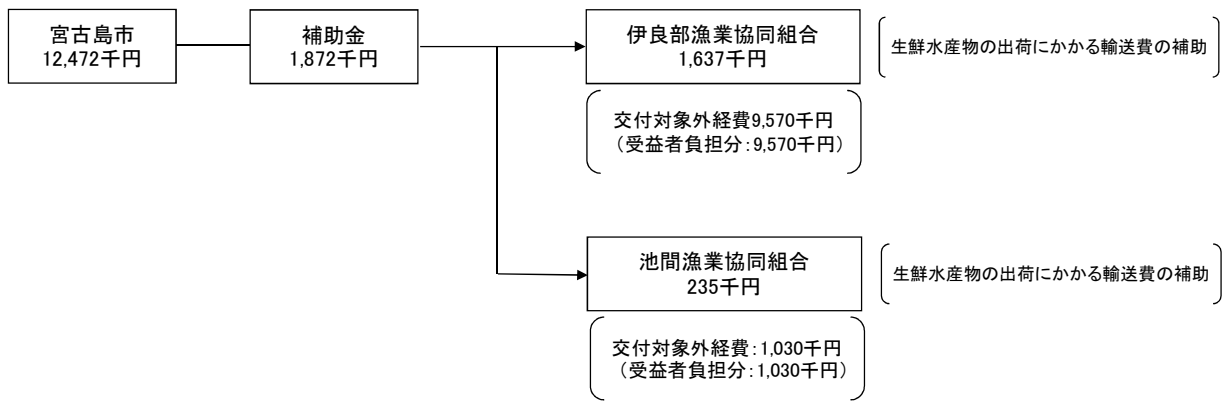
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業実施にあたっては、公募型プロポーザル方式により、提案内容の優劣、実績・知識等の面で信頼性のある事業者を選定して契約しており、支出先としては妥当であると考えられる。 △新型コロナウイルス感染症の影響で実施できない事業があった。 ○費用・市については、事業完了後に検査を行った結果適正であった。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市												
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】														
事業番号・事業名	4-①		生鮮水産物流通条件不利性解消事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ								
	担当部署名	農林水産部 水産課		事業実施(予定)年度		平成25～令和3年度	農林水産業の振興							
事業内容					沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)								
	離島という地理的事情から生じる流通条件の不利性を解消し、水産業の活性化を図るため、宮古島市に存する漁業協同組合(宮古島漁業協同組合、伊良部漁業協同組合、池間漁業協同組合)が沖縄本島へ出荷する生鮮水産物の空路輸送に対し、補助金を交付する。													
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)													
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()													
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度				
		(a) 当初予算額	950		1,140		2,144		870		713			
	(b) 予算現額	1,206		2,218		2,140		870		2,200				
	(c) 増減額(b-a)	256		1,078		▲ 4		0		1,487				
	(d) 繰越額	-		-		-		-		-				
	A. 計(b+d)	1,206		2,218		2,140		870		2,200				
	B. 執行済額	815		711		701		787		1,871				
	うち交付金充当額	652		569		561		629		914				
	次年度繰越額	0		0		0		0		0				
	執行率(%) (B/A)	67.6%		32.1%		32.8%		90.5%		85.0%				
予算の状況の説明		予算減額と執行済額に大きな乖離はなく適正に執行できた。												
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)			達成状況										
				H30年度		R1年度		R2年度		R3年度				
	生鮮水産物の空路輸送に対する補助(3漁協)			目標	(出荷補助(3漁協))		(出荷補助(3漁協))		(出荷補助(3漁協))		(出荷補助(3漁協))			
				実績	出荷補助(2漁協)		出荷補助(2漁協)		出荷補助(2漁協)		出荷補助(2漁協)			
				目標	()		()		()		()			
実績														
達成状況説明		3漁協での実施を目標としているが、宮古島市漁協については本事業に充てる職員が確保できなかったため2漁協での実施となった。												
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)			基準値(H23年度)		R1年度		R2年度		R3年度		目標値(R3年度)		
	生鮮水産物の沖縄本島への出荷量(118.9トン)			目標	(250トン)		(153.2トン)		(145.0トン)		(118.9トン)		(118.9トン)	
				実績			104.5トン		127.0トン		196.0トン			
	【参考指標】			目標	()		()		()		()		()	
				実績										
進捗状況説明		新型コロナウイルスの影響により生鮮水産物の需要の減少が見込まれたため、目標値を3カ年の平均値118.9トン(H29:142.7トン、H30:109.5トン、R01:104.5トン)として設定した。需要の回復があり、目標値を達成することができた。												

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルスの影響により、生鮮水産物の需要変化が出荷量に影響を与えたと考えられる。今後も需要の変化による流通の変化等が考えられる。	事業実施者との間で意見交換等の協議を随時行い、島内・沖縄本島の需要の変化や流通状況の変化等の情報共有を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>各漁協との意見交換を随時行い、島内・沖縄本島の需要の変化や新型コロナウイルスの影響による流通状況の変化等の情報共有を行う。</p> <p>また、本事業の補助を活用していない宮古島漁協に対して、事業の流れや事務処理手続き等について再度説明を行い、全漁協で輸送費補助を活用することにより離島の不利性を解消し、本市水産業の振興に寄与できるよう取り組んでいく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
12,472	1,872	914	958	10,600



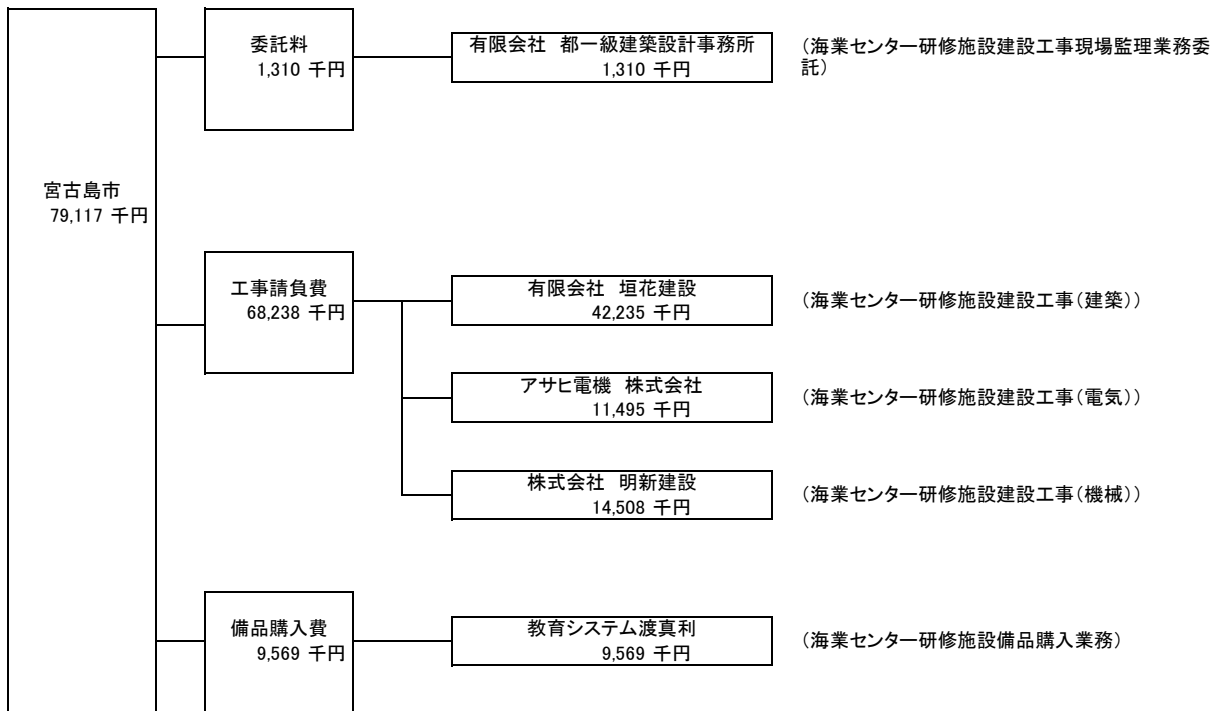
資金の流れ、費目・用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助対象事業者である漁協は水産業協同組合法に基づき私的独占の禁止が謳われた組織であることから、支出先として妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算現額と執行済額に大きな乖離はなく適正な執行であると考えられる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○輸送費の実績値に対し要綱に基づき算定された額を補助しているため負担関係としては妥当である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については遂行状況や実績報告でその都度確認を行っており、精算時の検査により目的に即し必要なものであったと判断した。

市町村名		宮古島市										
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	4-②	宮古島市海業センター整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア						
担当部署名	農林水産部水産課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)						
事業内容	海業センターを機能強化することにより、養殖業の支援、栽培漁業の推進を図り、研修施設建築工事及び研修施設備品購入業務を実施する。											
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)											
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()											
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		
		(a)当初予算額	220,000	250,815	80,186	72,746	92,000					
		(b)予算現額	191,519	250,815	80,186	56,746	82,000					
		(c)増減額(b-a)	▲28,481	0	0	▲16,000	▲10,000					
		(d)繰越額			126,504							
		A.計(b+d)	191,519	250,815	126,504	56,746	82,000					
		B.執行済額	191,196	124,311	121,477	53,665	79,117					
		うち交付金充当額	152,956	99,448	97,181	42,932	63,294					
		次年度繰越額	0	126,504	80,186							
		執行率(%) (B/A)	99.8%	49.6%	96.0%	94.6%	96.5%					
予算の状況の説明		予算現額と執行済額に大きな乖離はなく適正に執行できた。										
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況									
			H30年度		R1年度		R2年度		R3年度			
	研修施設建設工事完了	目標	()	()	()	()	(研修施設建設工事の実施)					
		実績					研修施設建設工事の完了					
	研修施設備品購入業務の完了	目標	()	()	()	(研修施設備品購入業務の実施)						
実績					研修施設備品購入業務の完了							
達成状況説明	予定していた下記工事及び業務を実施した。 研修施設建設工事とそれに伴う現場監理業務の内容 研修施設の建築、機械、電気の整備及び現場監理業務 研修施設備品購入業務の内容 研修施設内で使用する備品の購入業務											
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)		R1年度		R2年度		R3年度		目標値(年度)	
	研修施設建築工事完了	目標	()	()	()	()	(研修施設建設工事の実施)	()				
		実績					研修施設建設工事の完了					
	研修施設備品購入業務の完了	目標	()	()	()	()	(研修施設備品購入業務の実施)	()				
		実績					研修施設備品購入業務の完了					
進捗状況説明	事業期間内に、成果目標の委託及び工事を完了させた。											

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・研修施設の整備完了により、令和4年度から施設の供用開始となるが、昨今の新型コロナの状況により、施設利用者は横ばい又は低下すると考えられる。</p>	<p>・海業センター各施設の計画的な事業執行に努める。 ・新たな施設の供用開始に伴う周知活動として、ホームページやパンフレット作成等を行う。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・施設の効果的な活用に向け、種苗生産力の向上及び養殖技術向上などの研修支援についてどのように取り組んでいくべきかの再検討を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
79,117	79,117	63,294	15,823	0

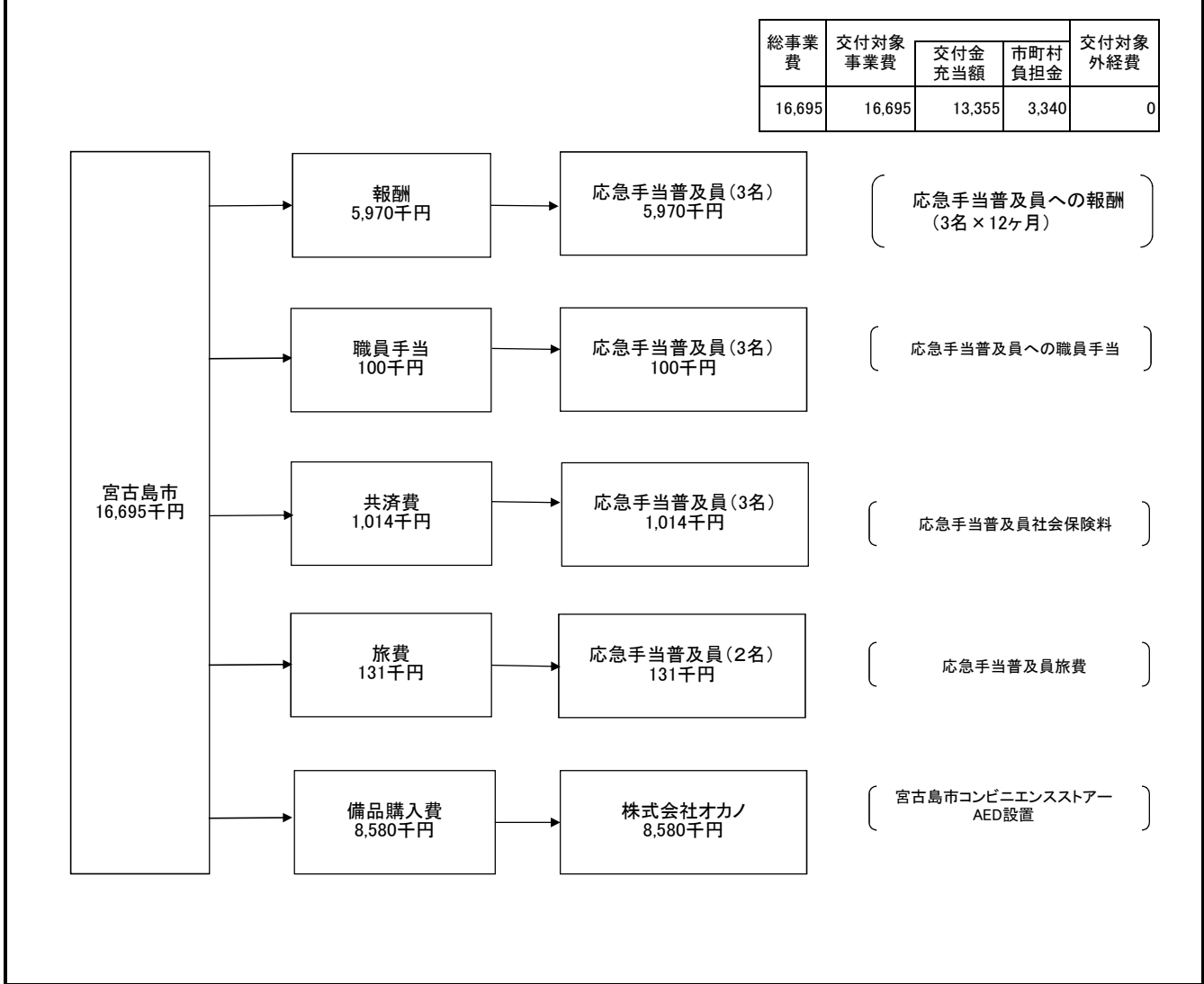


資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額が発生したものの、入札残であり、事業費規模は適正であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①		救命処置普及強化支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
	消防本部 総務課		事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	
担当部署名						Ⅲ-9	
事業内容	観光客や市民等に重篤な傷病者が発生した際の応急体制を確保するため、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a)当初予算額	7,402	7,411	7,414	7,755	18,725
		(b)予算現額	7,893	7,411	7,418	7,992	16,777
		(c)増減額(b-a)	491	0	4	237	▲1,948
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		7,893	7,411	7,418	7,992	16,777
	B. 執行済額		7,893	7,386	7,418	7,990	16,695
	うち交付金充当額		6,315	5,909	5,933	6,391	13,355
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.7%	100.0%	100.0%	99.5%
予算の状況の説明		報酬1,129千円、職員手当412千円、備品購入費入札残407千円を補正減額し事業を行ったが、共済費82千円が予算残となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・応急手当普及員:3名配置	目標	(3名)	(3名)	(3名)	(3名)	
		実績	3名	3名	3名	3名	
	・定例救命講習会の実施:21回	目標	(定例21回 (I/15回、Ⅲ/3回、上級/3回))	(定例21回 (I/15回、Ⅲ/3回、上級/3回))	(定例21回 (I/15回、Ⅲ/3回、上級/3回))	(定例21回 (I/15回、Ⅲ/3回、上級/3回))	
		実績	(定例16回 (I/11回、Ⅲ/2回、上級/3回))	(定例15回 (I/10回、Ⅲ/2回、上級/3回))	(定例10回 (I/8回、Ⅲ/0回、上級/2回))	(定例11回 (I/8回、Ⅲ/1回、上級/2回))	
	・出前救命講習会の実施:随時受付開催	目標	(開催)	(開催)	(開催)	(開催)	
		実績	開催	開催	開催	開催	
	・救命講習に関する普及啓発活動	目標	(各種イベント等、地元ケーブルテレビ・ラジオで広報活動)	(各種イベント等、地元ケーブルテレビ・ラジオで広報活動)	(各種イベント等、地元ケーブルテレビ・ラジオで広報活動)	(各種イベント等、地元ケーブルテレビ・ラジオで広報活動)	
		実績	出初式、防災フェア、防火委員会、宮古テレビ、FM宮古、広報誌	出初式、防災フェア、防火委員会、宮古テレビ、FM宮古、広報誌、海開き	宮古テレビ	宮古テレビ・YouTube	
・市内コンビニエンスストアへAED設置	目標	()	()	()	(AED設置)		
	実績				AED設置		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・専属の応急手当普及員を3名配置し、市民を対象に定例講習会、出前救命講習会を実施した。 ・新型コロナウイルスの影響で定例講習会及び出前講習会の中止があり目標人数を達成出来なかった。(希望団体等は有ったが感染拡大の為、講習会受付を行わなかった) ・市内コンビニエンスストアへAED19台設置を行った。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	救命講習会受講者数	目標	()	(1,700名)	(1,700名)	(950名)	()
		実績		1,529名	571名	774名	
	救命講習受講者へのアンケートで適切な応急手当が理解できたか(80%)を含め本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		71.80%	79.80%	89.20%	
	コンビニエンスストアに2カ国語対応AEDを19台設置する。	目標	()	(-)	(-)	(19台)	()
実績			-	-	19台		
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大による講習会の中止などで目標人数を達成出来なかった。 ・受講者へのアンケートにおいて、「講習会を終えて心肺蘇生法を実施出来るか」との問いに対して実施出来るとの回答が89.2%となり、目標を達成できた。 					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)	
取組の検証	(救命講習会受講者数) ・新型コロナウイルス感染防止の為、講習会場広さにより受講者数及び人形1体に1名受講者で講習会を行った為人数に制限があり目標人数を達成出来なかった。	(救命講習会受講者数) ・新型コロナウイルス感染予防対策を行い、訓練用人形を追加購入し1回あたりの受講者数を増やし講習会を開催する。	(救命講習会受講者数) ・新型コロナウイルス感染予防対策を行い、訓練用人形を追加購入し1回あたりの受講者数を増やし講習会を開催する。
	(受講者の習熟度検証) ・アンケートにおいて目標を上回った理由として、新型コロナウイルス感染防止のため胸骨圧迫とAEDの取り扱いを中心とした指導を行った為、解度が上がったと思われる。	(受講者の習熟度検証) ・アンケートにおいて目標を上回った理由として、新型コロナウイルス感染防止のため胸骨圧迫とAEDの取り扱いを中心とした指導を行った為、解度が上がったと思われる。	(受講者の習熟度検証) ・アンケートにおいて目標を上回った理由として、新型コロナウイルス感染防止のため胸骨圧迫とAEDの取り扱いを中心とした指導を行った為、解度が上がったと思われる。
今後の取り組み方針			
(救命講習会受講者数) ・新型コロナウイルス感染予防対策をとった講習会と訓練様人形を増やし1回の受講者対応人数を増やし、受講者数の増加を目指す。 (受講者の習熟度検証) ・感染症対策をふまえた人工呼吸を指導し更なる理解度の向上を目指し、習熟度上げる為にも定期的な講習会の受講を呼びかける。			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



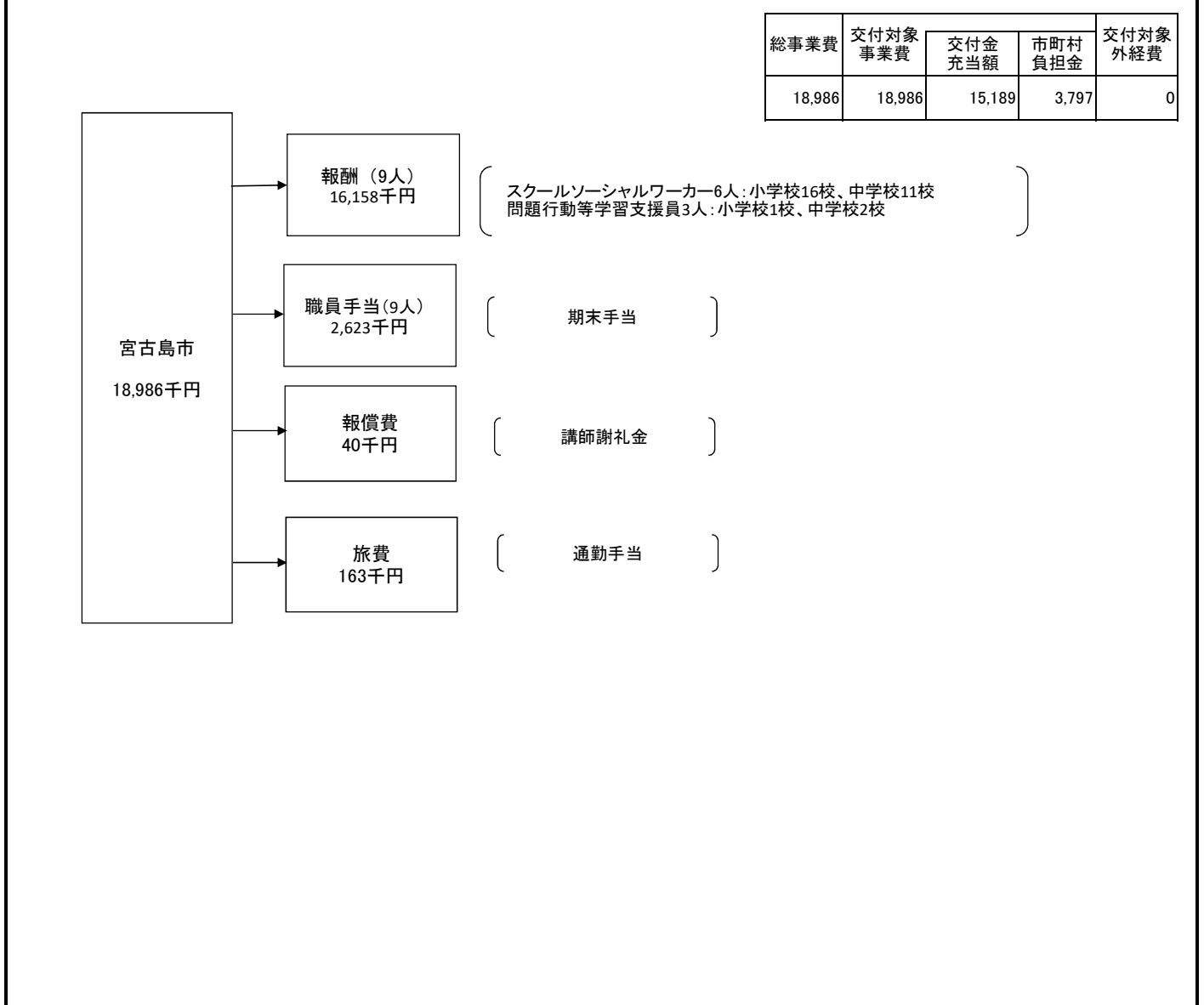
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者(AED設置)は指名競争入札を行っており適切に執行したと考える。 ○事業の適切な運営に伴い、予算執行も適切に行われた。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市										
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】												
事業番号・事業名	6-①		課題を抱える児童生徒の支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ						
	担当部課名	教育部 学校教育課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進					
事業内容		生徒指導上課題のある児童生徒の生活環境改善のため、個々に応じた支援の充実に向けて、教育委員会にスクールソーシャルワーカーを配置する。また、課題を抱えた児童生徒が在籍する学校に、適切な指導・支援の取組強化のための問題行動学習支援員を配置する。					Ⅲ-3-(1)					
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)										
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()											
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度		H30年度		R1年度		R2年度		R3年度		
		(a) 当初予算額	15,068		15,167		15,933		20,305		21,384	
	(b) 予算現額	13,912		15,167		13,591		17,968		20,312		
	(c) 増減額(b-a)	▲ 1,156		0		▲ 2,342		▲ 2,342		▲ 1,072		
	(d) 繰越額	-		-		-		-		-		
	A. 計(b+d)	13,912		15,167		13,591		17,968		20,312		
	B. 執行済額	13,621		12,570		11,361		15,785		18,986		
	うち交付金充当額	10,897		10,056		9,089		12,628		15,189		
	次年度繰越額	0		0								
	執行率(%) (B/A)	97.9%		82.9%		83.6%		87.9%		93.5%		
予算の状況の説明	スクールソーシャルワーカーの欠員期間があったこと、新型コロナウイルス感染拡大による出張中止の為、余剰となった1,072千円補正減・他事業に流用した。											
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況									
			H30年度		R1年度		R2年度		R3年度			
	スクールソーシャルワーカー 社会福祉士の配置	目標	(6人配置)		(6人配置)		(6人配置)		(6人配置)			
		実績	5人配置		4人配置		5人配置 (12月より4人)		6人配置			
	問題行動等学習支援員の配置	目標	(3人配置)		(3人配置)		(3人配置)		(3人配置)			
実績		2人配置		3人配置(7月より2人)		3人配置		3人配置				
達成状況説明	・スクールソーシャルワーカーは、6人配置することができた。そのうち、福祉士の資格を持ったスクールソーシャルワーカーも配置することができた。 ・スクールソーシャルワーカーは市内27校(小学校16校、中学校11校)に1人4校~5校の分担で配置し、支援を要する児童生徒の生活環境の改善を図り、働きかけを行った。 ・問題行動等学習支援員は、市内小中学校3校に3名配置することができた。問題行動等の児童生徒の教育相談及び学習支援、登校支援、体験活動等の支援を行った。											
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)		R1年度		R2年度		R3年度		目標値(年度)	
	不登校児童生徒のうち登校復帰または学びの場へつながった児童生徒の割合60%以上 (のべ復帰者/のべ不登校者)	目標	()		(50%)		(50%)		(60%)		()	
		実績	/		23%		25%		29%		/	
	【参考指標】	目標	()		()		()		()		()	
		実績	/								/	
進捗状況説明	・登校復帰率は29%となり、目標は未達成となった。(小学校で減少し、中学校で増加した) ・中学校において、登校復帰をした生徒の83%は問題行動等学習支援員を配置した学校の生徒であった。 ・スクールソーシャルワーカーによる児童生徒や保護者への支援、関係機関との連携が不登校の早期対応や学校復帰に繋がっている。学校において、スクールソーシャルワーカーや問題行動等学習支援員が機能的に活用されている。											

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に届かなかった理由として、子どもたちを取り巻く環境の複雑化に伴いスクールソーシャルワーカーへのニーズも多様化、複雑化しており、対応が困難になっていることが考えられる。 ・目標とする登校復帰とはならなかったものの、下記に記載のとおり支援を行い不登校児童生徒の半数以上は週1～3日程度は登校できている。 ①登校支援や学校での居場所の確保など児童生徒の抱える課題に対して、教員との連携を図って個別に支援を行った。 ②不登校の児童生徒の保護者には経済的・精神的にゆとりがない等の傾向や学校に通わせることが絶対ではないという意識の者も増えているため関係機関との情報共有・連携の元、保護者への支援を行った。 ・スクールソーシャルワーカーの資質向上のため研修会へ参加させているが、島外での研修が多く、離島のため参加が限定的である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き課題のある児童生徒及びその保護者に対して、学校や児童家庭課、福祉課等と連携をとりながらきめ細かな支援を行い、学校若しくは学校以外の学習の場に繋ぎ、将来的な登校復帰、社会的自立につなげる。 ・ICTを活用し遠隔研修等を導入して研修会への参加を多くし、スクールソーシャルワーカー、問題行動等学習支援員の資質向上を図る。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・文科省より、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、関係機関と連携し、学校若しくは学校以外の学習の場に繋ぎ、将来的な登校復帰、社会的自立につなげるという指針が示されていることを踏まえ、不登校児童生徒のうち学校及び学校以外の学びの場につながった児童生徒の割合で効果を検証する。 ・学校との連携がスムーズにいくように学校訪問による事業の周知と生徒指導研修会、校長研修会、教頭研修会などで、効果的な連携支援について推進していく。 ・連携を必要とする福祉部や保健部等、医療や警察など関係機関連絡会の開催を通して、宮古島市全体の子供の状況を共有化し連携を強化する。また、問題行動等学習支援員、スクールソーシャルワーカーの学校の現状に応じた効果的な派遣を図る。 ・事例検討会、講習会等への参加を増やしてスクールソーシャルワーカー・問題行動等学習支援員の資質向上を図るとともに、スーパーヴァイザー的な人材を確保する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

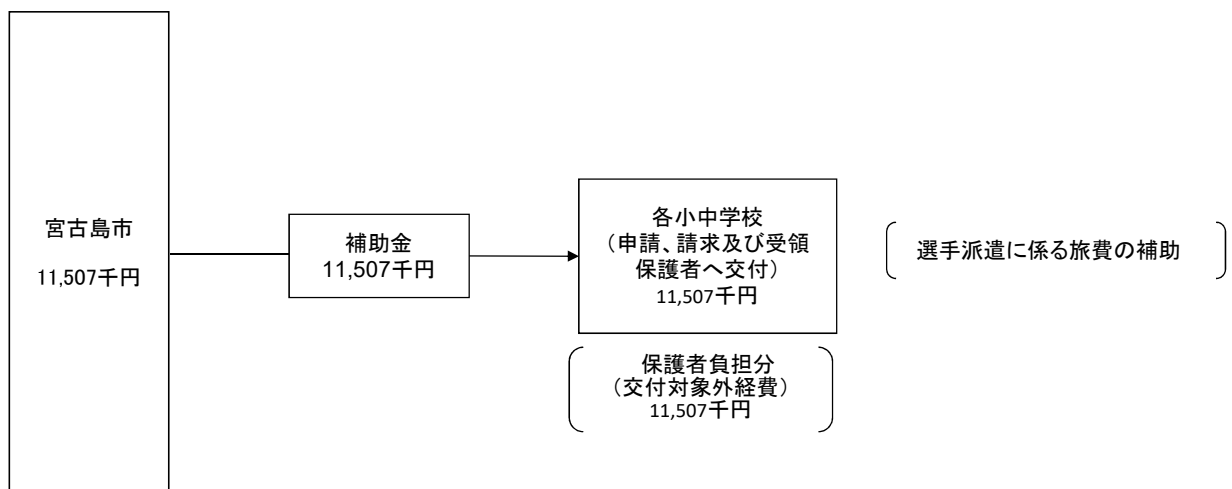


資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○スクールソーシャルワーカー等の選定は、専門的な知識や技術、経験等に基づいており妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○長期実績を踏まえたSSW配置人数は適正で、その報酬額は本市要綱に基づき予算化しており、事業内容に見合った適正規模であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については、報酬をはじめ、SSWの資質向上に向けた研修会派遣など、事業目標達成の観点から真に必要なであったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止された大会があり、例年に比べ低い執行率となった。 競技によっては地区大会が行われず、補助金の支給要件に該当しない事例も見られるので、制度の改正等を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区大会が無い補助金の支給対象とならない島外での大会や、大会に参加する児童生徒の保護者が負担しているチームの指導者の旅費、県・九州等の代表として選出され参加する合宿等の旅費に関しても、保護者に負担が掛かっている現状がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 既存の要綱では補助の対象となっていなかった地区大会の無い島外での大会や、指導者の旅費、県・九州等の代表に選出されて参加する合宿等の旅費も支給対象に加えて、幅広く児童生徒の負担軽減を図るため、令和3年度中に要綱を改正し、令和4年度からの施行を予定している。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
23,014	11,507	9,205	2,302	11,507

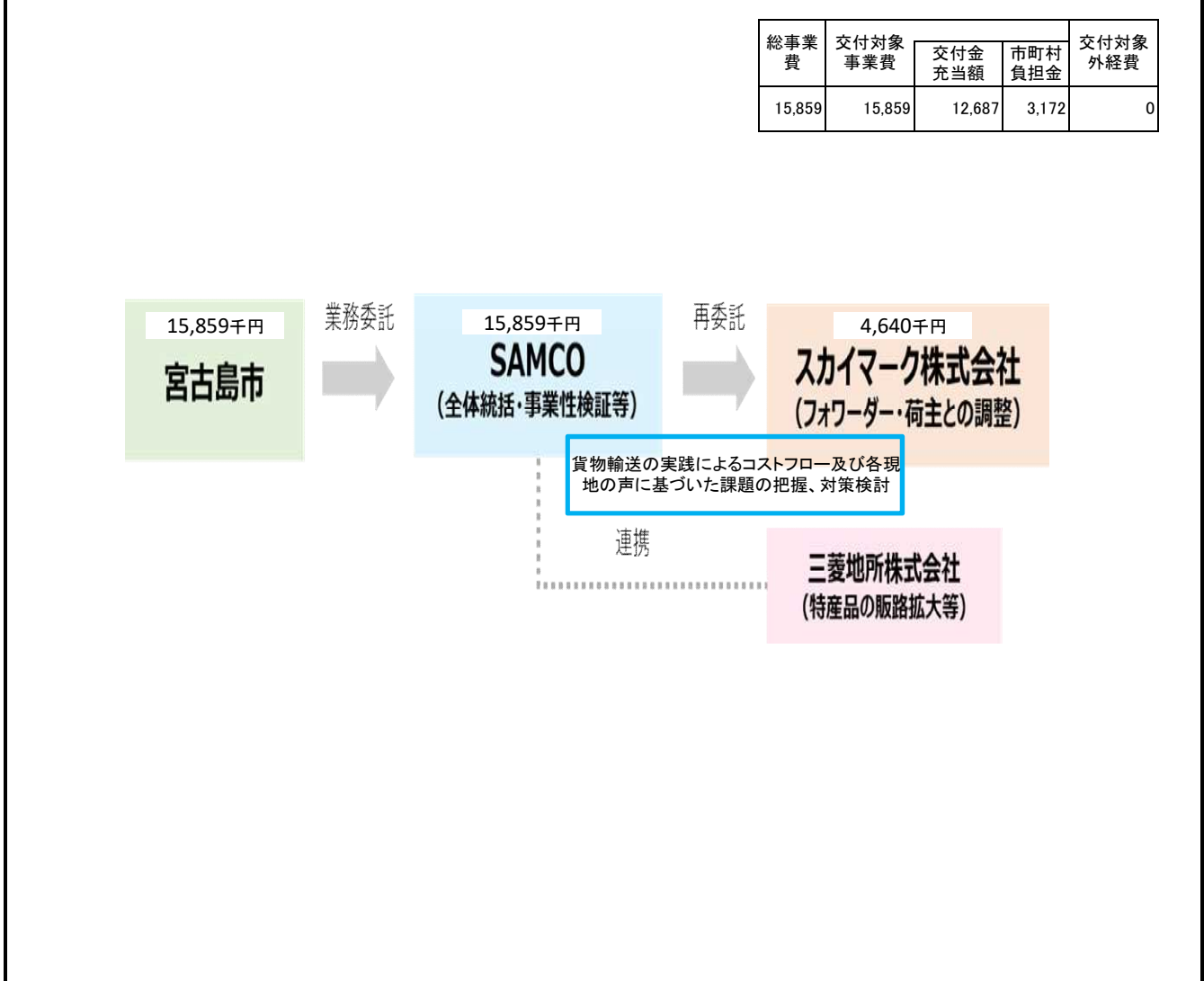


資金の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○派遣される児童生徒を取りまとめる学校長を支出先とすることは適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行率は新型コロナの影響はあったが、76.8%と令和2年度と比較して上昇してきているため、例年と同規模の予算を確保する必要がある。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○航空運賃に対する一部補助であり受益者である保護者の負担もあることから負担関係は妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、交付要綱に基づいた目的に限定して検査及び交付している。

市町村名	宮古島市						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	下地島空港を活用した航空貨物輸送体制構築事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-エ		
担当部署名	企画政策部 企画調整課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自立型経済の構築に向けた基盤の整備 Ⅲ-9		
事業内容	宮古圏域における農水産物等の移出量増及び滞貨状況の改善等を図るため、貨物上屋のない下地島空港において航空貨物輸送体制を構築することで、農水産物や加工食品など産業関連物資の物流ルートの多様化、輸送体制の最適化等による物流の効率化を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		16,441			
		(b)予算現額		16,264			
		(c)増減額(b-a)	0	▲177	0	0	0
		(d)繰越額					
	A.計(b+d)	0	16,264	0	0	0	
	B.執行済額		15,859				
	うち交付金充当額		12,687				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		97.5%				
予算の状況の説明	177千円の減額は、業務委託を公募型プロポーザル方式にて実施し、事業者からの企画提案額にて契約を締結したことにより、運搬業務検証の再委託費が想定より低減となったためであり、また、不用額405千円は適正な業務執行の検査を踏まえた結果である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	下地島空港からの航空貨物輸送	目標	()	()	(貨物輸送実施)	()	
		実績			貨物輸送実施		
販路拡大支援(物産展など)	目標	()	()	(物産展)	()		
	実績			飲食店を対象とした水産品の展示・試食会			
達成状況説明	新型コロナウイルスの感染拡大期と重なったことから開催を断念した物産展の代替として、東京都内で沖縄食材を扱う飲食店を対象とした水産品の展示・試食会を実施することとし、販売増及び今後の県外小売店/海外市場開拓に向けたきっかけ作りを目的として、飲食店のみならず飲食店向けに食材を販売する卸事業者や、水産品を取り扱う商社との面談も設定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(令和4年度)
	下地島空港における航空貨物輸送体制の構築	目標	()	()	()	(輸送体制構築)	()
		実績				輸送体制構築	
	【参考指標】 下地島空港における航空貨物取扱量 令和4年度:584t	目標	()	()	()	()	(584t)
実績							
進捗状況説明	本業務を通じ、① 貨物取扱エリアにおける貨物搬出入時のトラック動線と他の空港関連車両動線安全性の確保② 貨物取扱が増加した場合の、計量及び一時蔵置にかかる対応能力(効率)向上③ 国際貨物取り扱い展開に際しての保税蔵置場が必須である等の観点から、貨物上屋が体制構築に必要であることが明確になった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>令和3年7月～8月は出荷最盛期を迎えたマンゴー、令和3年12月半ば以降は同じく出荷最盛期を迎えた冬野菜がそれぞれ主に搭載され、生鮮貨物の少ない9月～11月は宅急便貨物や加工食品(雪塩等)が多く搭載され、通年での貨物ニーズ(農水産物の滞貨解消の可能性)を確認することができた。</p> <p>また、併せて貨物取扱いに際し発生する主な諸費用も把握し、貨物を搭載する航空会社の事業採算性を担保する上でも、下地島空港における取扱量を増やす必要がある。</p> <p>市内農水産品の生産・販売増に向けた主な課題としては、輸送キャパシティの不足、販路開拓、拡大にかかるリソース・ノウハウの不足、自然的/地理的不利性を再確認した。</p>	<p>令和3年度は新型コロナウイルスの拡大により宮古空港における定期便運休が続く中での貨物受託であり、本業務において確認できた通期での貨物輸送ニーズが一過性のものではないことを引き続き確認、検証する必要がある。</p> <p>貨物輸送の諸費用をカバーする売上を向上させるために、その貨物の取扱いにあたっては、荷主や貨物利用運送事業者等との連携輸送方法や品質管理等、貨物集荷といった、事業効率のために必要な機能として、貨物上屋の必要性が浮き彫りとなった。その規模・運営仕様は、貨物取扱い内容と相関関係にある。</p> <p>取り扱う市内農水産品の生産・販売増に向けた高付加価値化(加工品開発、商品差別化、市場開拓等)、チャネル統合化、生産拡大手段の検討、これらに係る助成制度設計の必要性も見えてきた。</p>
今後の取り組み方針		
<p>物流ルートの多様化、輸送体制の最適化等に取り組むためにも、取扱量を増やすための既存路線(下地島=羽田便)における取扱量の最大化に加え、下地島=那覇/神戸/成田便といった横展開も図る。</p> <p>他路線への展開について、スカイマークからは足元の厳しい事業環境に鑑み、設備投資等(人件費以外の)固定費発生が伴う事業への取組みは難しいとの見解を得ており、貨物取扱いに応じた費用負担を前提とするスキーム構築を行う。</p> <p>供給量に応じた(間尺に合った)販路開拓/拡大への市内農水産品の生産/販売を増やす官民連携の「持続的な」取組みを図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

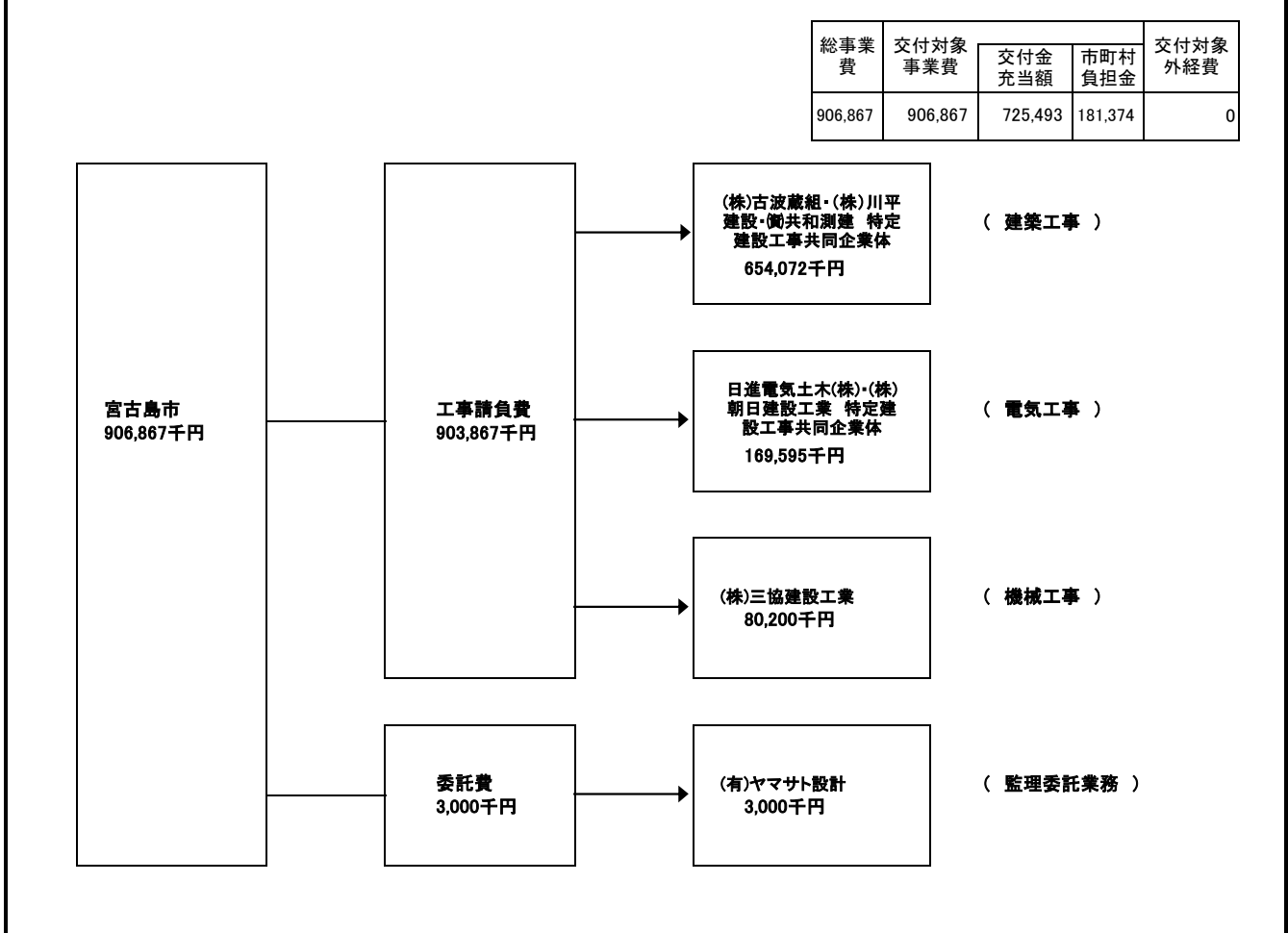


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○検証に適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業内容や事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		宮古島市					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-① 平良港総合物流センター整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(1)-イ		
	建設部 港湾課		事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	人流・物流を支える港湾の整備	
担当部署名					Ⅲ-9		
事業内容	宮古地域において物流の安定化を図るため、平良港において近年増加傾向にある取扱物流量に対応できるように、平良港総合物流センターを整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
		(a)当初予算額	15,325	23,222	775,544	0	906,874
	(b)予算現額	10,260	23,222	829,857	0	906,874	
	(c)増減額(b-a)	▲5,065	0	54,313	0	0	
	(d)繰越額	0	0	0	344,201	0	
	A.計(b+d)	10,260	23,222	829,857	344,201	906,874	
	B.執行済額	10,260	22,702	485,656	344,201	906,867	
	うち交付金充当額	8,208	18,162	388,524	275,361	725,493	
	次年度繰越額	0	0	344,201	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	97.8%	58.5%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		R2年度は繰越事業となったが、R3については当初予定通りの予算執行を行うことができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	平良港総合物流センター建築工事(2年目)の実施		目標 (基本設計策定)	(実施設計策定)	(工事1年目完了)	(工事(2年目)実施)	
			実績	基本設計策定	実施設計策定	工事1年目完了	工事(2年目)実施
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	令和2年8月13日に着工した建築工事、電気工事、機械工事、工事監理委託業務は、令和4年3月に工事を完了し検査を受け、引渡しを終えることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	平良港総合物流センター建築工事(2年目)の完了		目標 ()	(実施設計策定)	(工事1年目完了)	(工事(2年目)完了)	()
			実績	実施設計策定	工事1年目完了	工事(2年目)完了	
	【令和4年度 成果目標】取扱物流量		目標 ()	()	()	()	289千t以上/年
			実績				
進捗状況説明	令和2年8月13日に着工した建築工事、電気工事、機械工事、工事監理委託業務は、令和4年3月に工事を完了し検査を受け、引渡しを終えることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和4年度の建物供用開始に向けて、設計書に適合した建物と品質向上を達成し耐久性の優れた建物に仕上げるために、品質管理の徹底を行う。	品質管理の徹底を行うために、現場での自主検査(施工者)、監理検査を行いその検査の報告書を写真等を揃えて発注者に提出する。(検査は各ポイント毎で行う)
今後の取り組み方針		
令和4年4月に供用開始を行い、物流の円滑化及び安定化を図るために施設の利活用を促す(年間の取扱物流量289千t以上を目指す)。また台風襲来時に食料の品薄状態が慣例化していたが、港運会社、スーパー各社と連携をとり、品薄状態の解消、ストック機能の強化を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札で落札されていることから妥当であった。 ○予算規模は適正な規模であったと判断する。 ○費目・用途については、目的とする建物に必要なものを限定し設計されていると判断している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

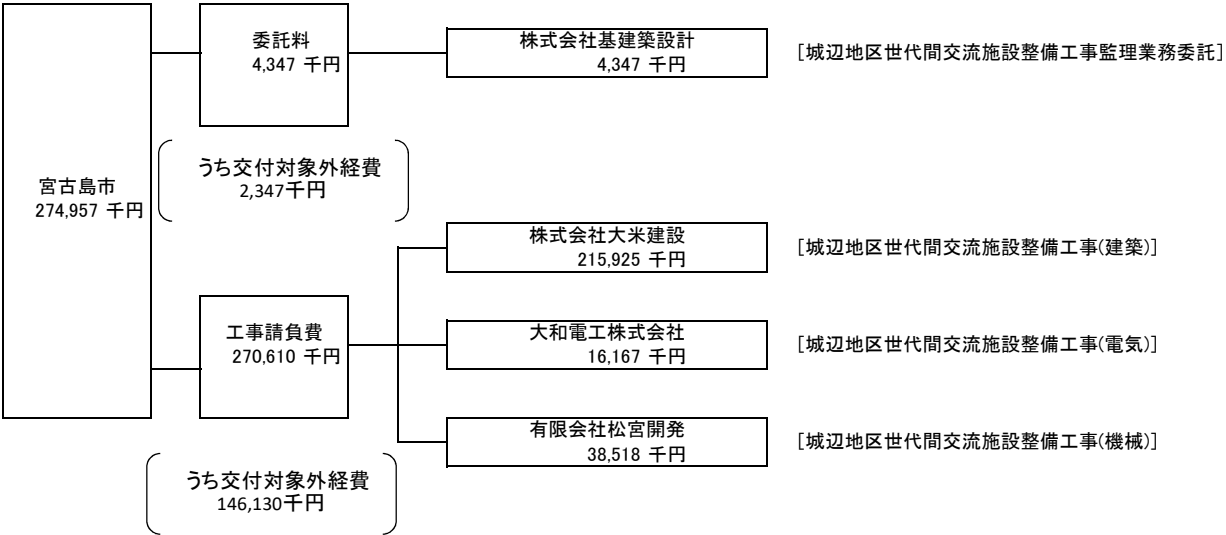
市町村名		宮古島市				
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	9-①	地下水保全調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-エ	
	担当部署名	水道部 水道総務課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活基盤の充実 Ⅲ-10-1
事業内容	地下水を唯一の淡水資源とする本市では、水道水源の保全が社会の成立案件となっていることから、持続的な社会を構築するため、地下水の保全に取り組むための水源開発追加調査を行う。 ①伊良部島における水源開発追加調査					
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)					
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a)当初予算額	104,328	37,000	79,037	89,595
	(b)予算現額	98,388	34,560	79,037	110,612	76,154
	(c)増減額(b-a)	▲5,940	▲2,440	0	21,017	8,630
	(d)繰越額					
	A.計(b+d)	98,388	34,560	79,037	110,612	76,154
	B.執行済額	98,388	34,560	77,000	110,612	76,154
	うち交付金充当額	78,710	27,648	61,600	88,489	60,923
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	97.4%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		令和3年度当初申請時は事業費67,524千円であったが、事業実施中に追加調査の必要性が生じたため年度途中での変更契約に係る増額申請を行い、総事業費76,154千円(増8,630千円)となった。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況			
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	①伊良部島における水源開発追加調査	目標	()	()	()	(実施)
		実績				実施
		目標	()	()	()	()
実績						
達成状況説明	伊良部島の地下水は淡水レンズとされ、開発可能な地下水は少ないことに加え、硝酸性窒素濃度も高いことから現在は宮古本島より水道水を送水している。しかし、観光客の増加、地震等に伴う断水の可能性を踏まえると伊良部島においても、予備的水源を確保する必要がある。前年度調査では伊良部島の東側で1箇所の予備水源地を選定し、今年度は新たな予備水源地選定のため、新たに候補地に該当し得る地点と、現在停止中である旧伊良部水源地11号井戸の計2箇所で揚水試験を行い、予備水源候補地周辺の地下水理構造並びに地下水質把握のためのボーリング調査、電気伝導率測定、地下水質測定、窒素負荷分析、気象観測を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	①伊良部島における水源開発追加調査の完了	目標	()	(完了)	()	()
		実績		完了		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	伊良部島における水源開発追加調査において、新水源候補地と旧水源11号井戸の2箇所で揚水試験を行った。新水源候補地では揚水試験では想定を大きく下回る揚水量であったため水源地としての使用が見込めない結果となったが、旧11号井戸では試験中の揚水による電気伝導率の上昇率が大きく、塩水化を発生させない適正揚水量は328m ³ /日と推定できる結果となった。また、地下水質面では旧11号井戸では塩化物イオン濃度、硝酸性窒素濃度については水道水質基準内であった。					

市町村名		宮古島市						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	10-①	城辺地区世代間交流施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ		
	担当部署名	福祉部児童家庭課	事業実施(予定)年度	令和1年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子育てセーフティネットの充実		
事業内容	児童の居場所を確保することによる保護者の負担軽減及び高齢者の生きがいづくりを図るため、城辺地域に子どもや高齢者など多世代が集い、交流できる機能などを備えた施設を整備する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
		(a)当初予算額	4,178	7,224	146,987			
	(b)予算現額	4,178	17,230	127,400				
	(c)増減額(b-a)	0	10,006	▲19,587				
	(d)繰越額	0	0	0				
	A.計(b+d)	4,178	17,230	127,400				
	B.執行済額	3,974	17,230	126,480				
	うち交付金充当額	3,179	13,784	101,184				
	次年度繰越額	0	0	0				
	執行率(%) (B/A)	95.1%	100.0%	99.3%				
予算の状況の説明		入札残が生じたため適宜予算減額を行い、不用額を抑制。予算現額と執行済額に大きな乖離はなく適正に執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	建設工事の実施	目標	(基本計画の策定完了)	(基本設計及び実施設計の完了)	(建設工事の完了)	()		
		実績	基本計画の策定完了	基本設計及び実施設計の完了	建設工事の完了			
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明		期間内に建設工事を完了することができた。 ・城辺地区世代間交流施設整備工事(建築、(電気)、(機械)) R3.7.29請負契約締結 R4.2.9変更請負契約締結 R4.3.11工事完成 R4.3.25建物引渡 ・城辺地区世代間交流施設整備工事監理業務委託 R3.7.29委託契約締結 R4.2.9委託変更契約締結 R4.3.11業務完了 R4.3.23業務成果物引渡						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)	
	建設工事の完了	目標	()	(基本計画の策定完了)	(基本設計及び実施設計の完了)	(建設工事の完了)	()	
		実績		基本計画の策定完了	基本設計及び実施設計の完了	建設工事の完了		
	【令和4年度成果目標】 ・施設利用の児童保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。 ・施設利用の児童と交流した高齢者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標	()	()	()	()	(80%)
			実績					
進捗状況説明		施設整備工事及び工事監理業務委託について、年度内に完了した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	R3年度事業は予定どおり完了し、施設が完成した。 R3年度内において施設設置条例の制定、施設を運営する指定管理者の選定を行っており、R4年度において予定どおり供用を開始した。	施設が供用開始したことから、児童の居場所確保による保護者の負担軽減及び高齢者の生きがいづくりの寄与に向け、施設を運営する指定管理者との連携を密に図りながら、施設利用のより良いあり方について検討、検証していく必要がある。
	今後の取り組み方針	
施設を利用する児童保護者及び児童と交流した高齢者に対しアンケート調査を実施し、本事業、施設利用のより良いあり方について検討、検証し、施設利用者の満足度向上を図りながら、施設の利活用を推進していく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
274,957	126,480	101,184	25,296	148,477



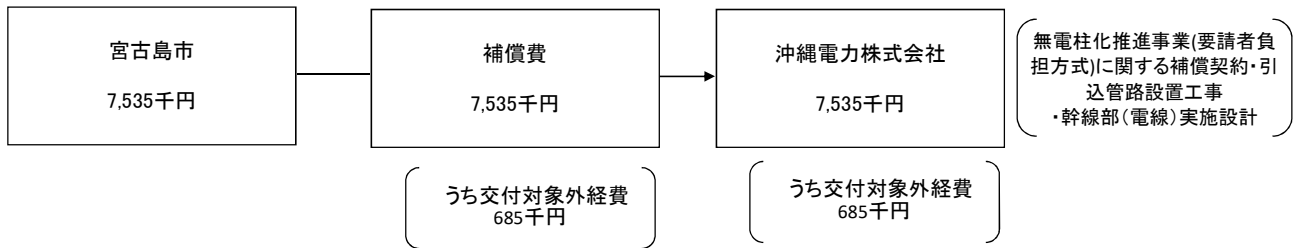
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者及び工事請負業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	-
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであり、適正であった。

市町村名	宮古島市						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11-①	宮古島市観光景観形成推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	建設部 道路建設課	事業実施(予定)年度	令和2年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	電線類を地中化することで、景観に配慮した風景を形成し更なる観光地としての魅力向上を図るため、無電柱化を推進する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和7年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他(補償)						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	9,324		8,653		
		(b)予算現額	4,961		7,293		
		(c)増減額(b-a)	▲4,363	0	▲1,360	0	0
		(d)繰越額		4,961			
		A.計(b+d)	4,961	4,961	7,293	0	0
		B.執行済額		4,774	6,850		
		うち交付金充当額		3,472	5,480		
		次年度繰越額	4,961				
		執行率(%) (B/A)	0.0%	96.2%	93.9%		
予算の状況の説明	沖縄電力株式会社との補償契約が当初の想定より低額で契約できたため、事業費1,360千円を減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・引込管路設置工事の実施	目標	()	(引込管路設計の実施)	(・引込管路設置工事の実施)	()	
		実績		引込管路設計の完了	・引込管路設置工事の完了		
・幹線部(電線)実施設計の実施	目標	()	()	(・幹線部(電線)実施設計の実施)	()		
	実績			・幹線部(電線)実施設計の完了			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・引込管路設置工事を完了した。(引込管路9箇所) ・幹線部(電線)実施設計を完了した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R7年度)
	・引込管路設置工事の完了	目標	()	()	(電線引込管路設計の完了)	(・引込管路設置工事の完了)	()
		実績			電線引込管路設計の完了	・引込管路設置工事の完了	
	・幹線部(電線)実施設計の完了	目標	()	()	()	(・幹線部(電線)実施設計の完了)	()
		実績				・幹線部(電線)実施設計の完了	
	【R7成果目標】	目標	()	()	()	()	(80%以上)
実績							
進捗状況説明	R2年度繰越事業にて電線引込管路設計の完了。 R3年度に引込管路設置工事の完了。幹線部(電線)実施設計の完了。 R4年度は電線ケーブル・地上機器等の購入を行う。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和2年度は新型コロナウイルスの影響により業務進捗の遅れが発生したため、令和3年度事業においては新型コロナウイルスの影響を考慮して事業を進める必要が生じた。	令和3年度は早期の契約締結により工期を確保したことで年度内完了することができた。令和4年度も同様に事業を進めていく。
今後の取り組み方針		
R4:電線ケーブル・地上機器等の購入 R5:地上機器設置・電線ケーブル入線工事。通信引込管路設計及び設置工事 R6:通信ケーブル設計及び入線工事		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
7,535	6,850	5,480	1,370	685



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補償契約は電線管理者である沖縄電力株式会社と締結しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額は487千円であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	